
さんだ里山スマートシティ アイデアボックス

実施報告書 令和4年2月

1. 概要

(1) 運用期間

令和3年4月23日～令和4年1月27日

(2) 内容

- ・オンラインフォームを活用してスマートシティに関するアイデアを募集
- ・アイデアはさんだ里山スマートシティ構想策定や実施事業の基礎資料として利用

(3) 投稿方法

- ①市ホームページよりアイデア投稿用のオンラインフォームへアクセス
- ②「困りごと」「理想のまちの姿」「デジタル技術やデータの活用」の3つのテーマについて自由にアイデアを入力
- ③投稿者の希望で氏名や連絡先等を記載したうえで入力内容を送信

※3つのテーマは、さんだ里山スマートシティワークショップ(令和3年11月20日、21日)のグループワークにおいてアイデアを創出する際に利用

《困りごとの抽出》

- ・三田市で生活するうえでの「困りごと」はありますか。
→身近な困りごとや普段感じている困りごとなどを考えます。

《理想のまちの姿》

- ・その「困りごと」は、どうなれば「理想のまち」になるでしょうか？
→困りごとが解決した理想のまちの姿を考えましょう。

《デジタル技術やデータを活用するアイデア》

- ・「理想のまち」にするために、デジタル技術やデータを活用するアイデアがあれば教えてください。

(4) オンラインフォームの概要

さんだ里山スマートシティ アイデアボックス

下記のフォームにご入力をお願いします。

さんだ里山スマートシティについて、「困りごと」「理想のまち」「アイデア」の投稿を受付中です。

募集期間：令和3年12月17日（金曜日）から令和4年1月27日（木曜日）まで

いただいたアイデアは適宜公表をさせていただきます。

なお、いただいたアイデアに対して個別に回答は差し上げません。

予めご了承ください。

Q1. 三田市で生活するうえでの「困りごと」はありますか。 **必須**

0 / 60000

Q2. 【自由入力】

その「困りごと」は、どうなれば「理想のまち」になりますか？

0 / 60000

Q3. 【自由入力】

「理想のまち」にするために、デジタル技術やデータを活用するアイデアがあれば入力してください。

0 / 60000

Q4. 【自由入力】

お名前・お電話番号・メールアドレス・ニックネームを入力してください。投稿いただいた内容の確認のためにご連絡させていただく場合があります。

投稿内容・ニックネームはホームページに掲載される場合があります。

（お名前・お電話番号・メールアドレスは掲載されません）

氏名

氏

0 / 64

名

0 / 64

氏フリガナ

0 / 64

名フリガナ

0 / 64

電話番号

電話番号

0 / 15

メールアドレス

メールアドレス

0 / 128

2. 実施結果

(1) 投稿人数

- ・ のべ 21 人

(2) 分野別の投稿数

- ・ 投稿された数々のアイデアをテーマ別に概ね分類
- ・ 交通やまちの賑わい、行政等に対するアイデアが最も多い

| 分野 | 件数 |
|----------------------|----|
| 交通/移動(モビリティ) | 8 |
| 賑わい(新たな働き方・産業・観光・文化) | 7 |
| 行政 | 5 |
| 自然・里山・農業 | 4 |
| 福祉共生 | 3 |
| 健康(ウェルネス) | 2 |
| 子ども・教育 | 2 |
| エネルギー | 2 |
| 住宅 | 2 |
| 安全安心・防災 | 2 |
| 地域活動 | 2 |

(3) テーマと分野別の投稿内容

- ・ テーマごとに投稿されたアイデアを紹介（概ね原文のまま記載）
- ・ 生活に密着した課題やアイデア、三田らしいアイデアなど多数の投稿

※投稿されたアイデアに特定の個人や団体、企業名等が記載されている場合は、掲載を割愛させていただいております。

① 困りごとの抽出

| | |
|----------------------|---|
| 交通/移動 (モビリティ) | <ul style="list-style-type: none">・ <u>郊外地は、バスは通っているものの、本数が少ない。タクシーは便利ですが、料金のことを考えると簡単には利用できず、とても不便です。交通の面で考えると生活がしづらいです。</u>・ 交通弱者にとっての交通手段。・ <u>駅からの有馬富士公園などの施設へのアクセスが悪い。</u> |
| 賑わい(新たな働き方・産業・観光・文化) | <ul style="list-style-type: none">・ <u>ワンコが遊べる公園が少ない</u>と思います。使用頻度が明らかに少ない公園でもノーリードで遊べないのはもったいないです。 |

| | |
|----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>マウンテンバイクの練習場所がない</u>。ハイキングコースは急勾配のため、自転車で登れず、また、歩行者優先であるため、走れない。 |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 役所の手続きが不便です。いちいち仕事を休んで窓口に行かないといけない。<u>役所に行かなくても手続きができるようになれば便利</u>です。 |
| 自然・里山・農村 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>農業の担い手不足</u> |
| 住宅 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に対して、安い賃貸で断熱や気密がよい賃貸住宅がない。 |
| 地域活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化による地域共同の弱体化。 ・ <u>地域コミュニティの活性化</u>を図らないと、人口流出と高齢化が更に加速する |

② 理想のまちの姿

| | |
|----------------------|---|
| 交通/移動 (モビリティ) | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>低料金で利用できる経路や乗降時間など自由度の高い交通手段</u>。 |
| 賑わい(新たな働き方・産業・観光・文化) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 郊外地にも商業施設がほしい。 ・ <u>使用頻度の少ない公園を有料ドッグランに変えたら</u>トラブルが少なく生活出来ると思います。お手入れは要りますが天然芝もしくは、人工芝にすれば芝の手入れもなく安心です。住みやすくなって理想的な街になり、市民も増えるのではないのでしょうか？ ・ 犬同伴可能な店を作る。三田市で犬と共存できる生活の場を作れば、話題性ができ、三田市に活気が出ると思う。 ・ 人口の転出が激しいニュータウンエリアを中心に<u>地域コミュニティ活性化を図るコミュニティ拠点</u>を設置する |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後日本の人口は、大きく減少するから、行政サービスのデジタル化によって徹底した効率化を進めてほしい。 |
| 自然・里山・農村 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>三田の獣マップ</u>の作成。三田の池、川の状況マップ |

| | |
|---------------|--|
| 健康 (ウェルネス) | ・ <u>24 時間オンラインで診療してもらえれば助かります。</u> |
| 安全安心・防災 | ・ <u>災害時に太陽光パネル等自然エネルギーで地域の電力が賄えるように仕組みづくりをする。</u> |

③ デジタル技術やデータを活用するアイデア

| | |
|----------------------|--|
| 賑わい(新たな働き方・産業・観光・文化) | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>さまざまなアートに触れることができるような技術があれば、しかもリアルに相当する臨場感があれば素敵です。</u> ・ <u>ニュータウンエリアに地域コミュニティの HUB となる、テレワークオフィスを設置する。</u> ・ <u>多世代(学生・高齢者等)の交流促進を図る”三田市ポータルサイト”の開設。ニュータウン在住の市民の知見を活用する”三田市ポータルサイト”</u> |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地区ごとに公的サービスの窓口を設置する。人の常時配置はむづかしいので、タブレットを設置して、必要時、三田市役所の窓口につながる。</u>そこで、各部署につながりがあり、相談や簡単な手続きを行えるようにする。 ・ <u>ゴミ収集日が分かりづらいので、他の市でも利用されている地区別、分別日別に表示されるゴミ分別スマホアプリを使用し、いつでも手元で最新情報を見ることができるようにする。</u> ・ <u>積極的にオンラインでのサービスにシフトして生産性を向上して組織のスリム化に取り組んでほしい。</u> |
| 福祉共生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>三田市は、今後、高齢者が急増するので、認知症やフレイル、未病対策に ICT を活用することが最重要課題だと思います。実施する時は、市民に受け入れられるかどうかかわからない段階で一気にお金かけて進めるのではなく、<u>スモールスタートで試行するのがいい</u>と思います。</u> ・ <u>ネット環境を各家庭に整え、プライバシーは守られるかたちで高齢者世帯の見守りに活用。</u> |
| 健康 (ウェルネス) | ・ <u>病院のカルテがどこの病院からでもアクセスできるようになれば、医療機関の利用の仕方が変わらないだろうか。</u> |
| 子ども・教育 | ・ <u>小学生に配布されている iPad を使って、病休や登校が難しい子どもが授業を受けられるのが通常への対応となるよう仕組みを整える。また、この iPad を使って、学生や地域の人</u> |

| | |
|---------|--|
| | の有償ボランティアによるオンライン補習授業を低額で行う。 |
| 安全安心・防災 | ・建物の上に、太陽パネルを設置して、災害時にその地域の電力を担うような仕組みをITで作る。 |
| 地域活動 | ・デジタルを活用した社会とのつながり、それも難しい方もあるかもしれませんが。人と会いたくても会えない人は画面を通じた人とのふれあいなどなど。 |

3. アイデアの活用

(1) スマートシティ構想へ

さんだ里山スマートシティの実現に向けた取り組みの4つの方向性に活かします。

- 1 市民一人ひとりが豊かに暮らす（市民生活の質の向上）
- 2 デジタルの力で持続可能な三田を目指す（都市機能の最適化）
- 3 スマートシティの基礎を固める（官民共創の基盤の構築と強化）
- 4 デジタル時代に相応しい市役所になる（市役所のスマート化）

(2) さんだ里山スマートシティ構想-実現に向けたアイデア-（資料集②）へ 様々な施策の推進に活かします。

- ・誰もが楽しみながらいつまでも健康に暮らす
- ・高齢者や障害者等が安心して暮らせるように支える
- ・子どもが元気に育ち・夢を持ちながら学び成長する
- ・地域で活動する人を支える
- ・誰もが移動に困らないように整備されたまち
- ・三田の魅力である自然・里山・農村を守り活用するまち
- ・生活の安全安心・非常時へ備えるまち
- ・多様な働き方・産業・観光/文化による賑わいのあるまち
- ・官民共創によるスマートシティの取り組みの推進
- ・オープンデータの推進とデータ利活用人材の育成
- ・デジタルを活用した利便性の高い行政サービスの提供
- ・情報を分かりやすく届くように発信する体制の構築

(3) 令和4年度スマートシティ事業へ

令和4年度以降の事業の実施に活かします。（下記は抜粋です）

- ・一人暮らし高齢者の見守り支援サービス実証実験
- ・地域情報発信Webアプリの導入
- ・スマート農業機械等導入支援事業

以上